

景観形成の配慮事項に係る対応説明書（市街地景観区域）

| | | ※受付番号 | |
|---|--|---|--|
| 行為の種類 | 行為の内容 | | |
| <input type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質変更 <input type="checkbox"/> 物件の堆積 | 新築 <input type="checkbox"/> 又は <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更 新設 | <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更 | |

【建築物】

| 区分 | 配慮事項 | 対応状況の説明 |
|-------|--|---------|
| 配置・高さ | <input type="checkbox"/> 田園や丘陵地、大雪山・十勝岳連峰等、地域の良い景観資源に対して、周辺からの眺望をさえぎらないように配慮した配置・高さとする。 <input type="checkbox"/> 周辺や街並みの連続性に配慮し、突出した印象や圧迫感を与えない配置・高さとする。 <input type="checkbox"/> 原則として高さ16m以下とする。 | |
| 形態・意匠 | <input type="checkbox"/> 周辺景観と調和した形態・意匠（外観デザイン）とする。 <input type="checkbox"/> 大規模な建築物の壁面は、長大で単調となることを避け、分割・分節などの工夫を行う。 <input type="checkbox"/> 商業地における施設低層部は、周囲の景観に配慮しながら賑わいと潤いを感じられるよう意匠や外構の工夫に努める。 <input type="checkbox"/> 建築物に付帯する設備等は道路等の公共空間から容易に見えないように配置し、又は目隠しする等の工夫を行う。 | |
| 色彩 | <input type="checkbox"/> 屋根や壁面の基調となる部分の色彩は光沢を抑え、彩度は景観形成基準で定める範囲内とするなど、花と緑が映える色使いを基本とする。 <input type="checkbox"/> 複数の色彩を用いる際は色数を抑え、目立つ色彩の使用は最小限にとどめる。 <input type="checkbox"/> 航空機からの眺めに配慮し、屋根の色彩は周辺との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 屋根や壁面にはイラスト等の記載は控える。記載する場合にはワンポイントのロゴマーク、ロゴタイプにとどめる。 | |
| 緑化 | <input type="checkbox"/> 沿道から見える場所には樹や花を積極的に植えるなど彩りある沿道景観や心地よい歩行空間づくりに配慮すること。 <input type="checkbox"/> 既存樹木の保全に努める。やむを得ず伐採しなければならない場合は、新たに植栽を行うなど緑化に努める。 | |

【工作物】

| 区分 | 配慮事項 | 対応状況の説明 |
|-------|--|---------|
| 配置・高さ | <input type="checkbox"/> 大雪山・十勝岳連峰等、地域の良い景観資源に対して、周辺からの眺望をさえぎらないように配慮した配置・高さとする。 <input type="checkbox"/> 道路やその他の公共空間からの見え方に配慮した配置・高さとし、圧迫感のある工作物の場合、出来る限り目立たない場所へ配置するよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 原則として高さ16m以下とすること。 | |
| 形態・意匠 | <input type="checkbox"/> 沿道に設置する工作物の場合、街路樹や植栽、花壇など周辺景観の連続性と調和するデザインとなるように配慮すること。 <input type="checkbox"/> 同敷地内に建築物等がある場合は、素材やデザインを協調させ、統一感のある形態・意匠となるよう配慮すること。 | |
| 色彩 | <input type="checkbox"/> 基調となる部分の色彩は光沢を抑え、彩度は景観形成基準で定める範囲内とするなど、花と緑が映える色使いを基本とすること。 <input type="checkbox"/> 複数の色彩を用いる際は色数を抑え、目立つ色彩の使用は最小限にとどめること。 <input type="checkbox"/> 航空機からの眺めに配慮し、上空から見える部分の色彩についても周辺との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 外観へのイラスト等の記載は控えること。記載する場合にはワンポイントのロゴマーク、ロゴタイプにとどめること。 | |
| 屋外照明 | <input type="checkbox"/> 外灯などの工作物では、歩行者や自動車の通行において不快なまぶしさを感じさせないよう、光源の設定等に配慮すること。 <input type="checkbox"/> まちの中心部や商業地では、色温度を統一することや、暖かみのある柔らかな光色や配光とするなど、心地よい雰囲気の照明となるよう配慮すること。 | |
| 緑化 | <input type="checkbox"/> 沿道から見える場所には樹や花を積極的に植えるなど彩りある沿道景観や心地よい歩行空間づくりに配慮すること。 <input type="checkbox"/> 既存樹木の保全に努めること。やむを得ず伐採しなければならない場合は、新たに植栽を行うなど緑化に努めること。 | |

【開発行為・土地の形質の変更】

| 区分 | 配慮事項 | 対応状況の説明 |
|----|---|---------|
| 全般 | <input type="checkbox"/> できる限り現況の地形を活かし、地形の改変は必要最低限にとどめること。切土や盛土を行う場合は、できる限り勾配の緩やかな法面とすること。やむを得ず擁壁となる場合には、目立たない仕上げや植栽による修景を行うこと。 <input type="checkbox"/> 基本的に既存の樹木は保全に努めること。やむを得ず伐採しなければならない場合は、新たに植栽を行うなど緑化に努めること。 | |

【屋外における土石、廃棄物、再生資源その他物件の堆積】

| 区分 | 配慮事項 | 対応状況の説明 |
|----|--|---------|
| 全般 | <input type="checkbox"/> 道路やその他の公共空間から容易に見える場所での堆積は避けること。やむを得ず堆積する場合は、周囲からの見え方に配慮し、植栽による修景などを行うこと。 | |

注1 ※印欄は、記入しないこと。

2 配慮事項は、当該事項について配慮した場合に、□内にレ印を付すこと。

3 対応状況の説明は、配慮事項に具体的にどのように対応したかを記載すること。

景観形成の配慮事項に係る対応説明書（農地・丘陵・森林景観区域、空港沿道景観区域）

| | | ※受付番号 | |
|---|--|---|--|
| 行為の種類 | 行為の内容 | | |
| <input type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質変更 <input type="checkbox"/> 物件の堆積 | 新築 <input type="checkbox"/> 又は <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更 新設 | <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更 | |

【建築物】

| 区分 | 配慮事項 | 対応状況の説明 |
|---------------|--|---------|
| 配置 ・ 高さ | <input type="checkbox"/> 田園や丘陵地、大雪山・十勝岳連峰等、地域の良好な景観資源に対して、周辺からの眺望をさえぎらないように配慮した配置・高さとする。 <input type="checkbox"/> 原則として高さ10m以下とする。 | |
| 形態 ・ 意匠 | <input type="checkbox"/> 農地や丘陵地、森林といった自然豊かな周辺景観と調和した形態・意匠（外観デザイン）とする。 <input type="checkbox"/> 大規模な建築物の壁面は、長大で単調となることを避け、分割・分節などの工夫を行う。 <input type="checkbox"/> 屋根や壁面は自然や緑に馴染む素材感とし、周辺との違和感が出ないように配慮すること。 <input type="checkbox"/> 建築物に附帯する設備等は道路等の公共空間から容易に見えないように配置し、又は目隠しする等の工夫を行う。 | |
| 色 彩 | <input type="checkbox"/> 屋根や壁面の基調となる部分の色彩は光沢を抑え、彩度は景観形成基準で定める範囲内とするなど、花と緑が映える色使いを基本とすること。 <input type="checkbox"/> 複数の色彩を用いる際は色数を抑え、目立つ色彩の使用は最小限にとどめる。 <input type="checkbox"/> 航空機からの眺めに配慮し、屋根の色彩は周辺との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 屋根や壁面にはイラスト等の記載は控えること。記載する場合にはワンポイントのロゴマーク、ロゴタイプにとどめる。 | |
| 緑 化 | <input type="checkbox"/> 沿道から見える場所には樹や花を積極的に植えるなど彩りある沿道景観や心地よい歩行空間づくりに配慮すること。 <input type="checkbox"/> 既存樹木の保全に努めること。やむを得ず伐採しなければならない場合は、新たに植栽を行うなど緑化に努めること。 【空港沿道景観区域に関する配慮事項】 <input type="checkbox"/> 来訪者に北の大地を印象付けるような連続した花と緑の沿道景観づくりに努めること。 | |

【工作物】

| 区分 | 配慮事項 | 対応状況の説明 |
|-------|--|---------|
| 配置・高さ | <input type="checkbox"/> 大雪山・十勝岳連峰等、地域の良い景観資源に対して、周辺からの眺望をさえぎらないように配慮した配置・高さとする。 <input type="checkbox"/> 道路やその他の公共空間からの見え方に配慮した配置・高さとし、圧迫感のある工作物の場合、出来る限り目立たない場所へ配置するよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 原則として高さ10m以下とすること。 | |
| 形態・意匠 | <input type="checkbox"/> 農地や丘陵・森林といった自然豊かな周辺景観と調和したデザインとなるように配慮すること。 <input type="checkbox"/> 沿道に設置する工作物の場合、街路樹や植栽、花壇など周辺景観の連続性と調和するデザインとなるように配慮すること。 <input type="checkbox"/> 同敷地内に建築物等がある場合は、素材やデザインを協調させ、統一感のある形態・意匠となるよう配慮すること。 | |
| 色彩 | <input type="checkbox"/> 基調となる部分の色彩は光沢を抑え、彩度は景観形成基準で定める範囲内とするなど、花と緑が映える色使いを基本とすること。 <input type="checkbox"/> 複数の色彩を用いる際は色数を抑え、目立つ色彩の使用は最小限にとどめること。 <input type="checkbox"/> 航空機からの眺めに配慮し、上空から見える部分の色彩についても周辺との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 外観へのイラスト等の記載は控えること。記載する場合にはワンポイントのロゴマーク、ロゴタイプにとどめること。 | |
| 屋外照明 | <input type="checkbox"/> 外灯などの工作物では歩行者や自動車の通行に置いて不快なまぶしさを感じさせないよう、光源の設定等に配慮すること。 【空港沿道景観区域】 <input type="checkbox"/> 外灯などの屋外照明は、暖かみのある柔らかな光色や配光とするなど、心地よい雰囲気照明となるよう配慮すること。 | |
| 緑化 | <input type="checkbox"/> 沿道から見える場所には樹や花を積極的に植えるなど彩りある沿道景観や心地よい歩行空間づくりに配慮すること。 <input type="checkbox"/> 既存樹木の保全に努めること。やむを得ず伐採しなければならない場合は、新たに植栽を行うなど緑化に努めること。 | |

【開発行為・土地の形質の変更】

| 区分 | 配慮事項 | 対応状況の説明 |
|----|---|---------|
| 全般 | <input type="checkbox"/> できる限り現況の地形を活かし、地形の変更は必要最低限にとどめること。切土や盛土を行う場合は、できる限り勾配の緩やかな法面とすること。やむを得ず擁壁となる場合には、目立たない仕上げや植栽による修景を行うこと。 <input type="checkbox"/> 基本的に既存の樹木は保全に努めること。やむを得ず伐採しなければならない場合は、新たに植栽を行うなど緑化に努めること。 | |

【屋外における土石、廃棄物、再生資源その他物件の堆積】

| 区分 | 配慮事項 | 対応状況の説明 |
|----|--|---------|
| 全般 | <input type="checkbox"/> 道路やその他の公共空間から容易に見える場所での堆積は避けること。やむを得ず堆積する場合は、周囲からの見え方に配慮し、植栽による修景などを行うこと。 | |

注1 ※印欄は、記入しないこと。

2 配慮事項は、当該事項について配慮した場合に、□内にレ印を付すこと。

3 対応状況の説明は、配慮事項に具体的にどのように対応したかを記載すること。